

はちまんじんじゃ しゃそう  
「八幡神社の社叢」

松伏町指定記念物（天然記念物）  
昭和55年4月2日指定

八幡神社（大字<sup>おおかわど</sup>大川戸）は旧大川戸村の鎮守<sup>ちんじゆ</sup>で、神社に伝わる縁起書<sup>えんぎしょ</sup>ではその創建を不詳としながらも、建久<sup>けんきゆう</sup>元年（1190）とする古老の言葉を引いています。

八幡神社の社叢は、県指定天然記念物「大川戸の大イチョウ」を中心として、タブノキ、シラカシ、スタジイなどの常緑広葉樹、ケヤキ、ムクノキ、エノキなどの落葉樹、ヤブツバキ、アオキ、サカキ、イヌツゲなどの低木が見られ、「鎮守の森」を形成しています。

※折れた枝が落下することがあるため、強風時やその直後の見学は、十分にご注意ください。また、夏季には蚊への対策が必要です。

